



新緑の定禅寺通り 写真提供：宮城県観光課

計量みやぎ

編集発行

仙台市太白区長町 7-22-23

宮城県計量検定所内

(社)宮城県計量協会

TEL 246 2466・FAX 247 1490

www.keiryo.net/



菅原産業立地推進課長祝辞



御来賓の方々



知事褒状受賞

総会は、定刻十五時に千葉副会長が開会を宣し、鍋島会長挨拶に続いて表彰に移り、菅原商工観光部専事兼産業立地推進課長より知事褒状一名、会長表彰二名、会長褒賞六名にそれぞれ賞状と記念品が贈られ、表彰者代表として小川宇吉氏が謝辞を述べ表彰式を終了した。続いて、菅原商工観光部専事兼産業立地推進課長、石川県議会議員、渡辺市議会議員

より祝辞をいただいた後、定款第二十四条に基づき、鍋島会長が議長に就任し、議事の審議に入った。第一号議案から第五号議案について、武田専務理事、経理担当齋藤事務局次長がそれぞれ報告を行い満場一致で可決された。最後に事務局より報告事項があり、副会長伊達氏の閉会挨拶により十七時終了した。

平成二十年度通常総会は、六月五日(木)仙台市宮城野区「メルパルクSE NDAI」において、来賓に宮城県知事(代理・菅原経済商工部専事兼産業立地推進課長)、仙台市長(代理・木村経済局産業政策部経済企画課長)、石川宮城県議会議員、渡辺仙台市議会議員、太田宮城県計量検定所長、鍋島前会長のご臨席をいただき開催された。

検査事業の長期継続めざし

第五十一回通常総会開催

計量功労受賞者

宮城県知事褒状

(六月五日受賞)

小川 宇吉氏

(日本エン지니어・サービス(株))

(社)日本計量振興協会会長表彰

(五月二十六日受賞)

伊達 啓公氏

(株藤崎)

東北六県北海道計量協会 連合会長表彰

(十月九日受賞予定)

星 敏男氏

(日本エン지니어・サービス(株))

(社)宮城県計量協会会長表彰

(六月五日受賞)

江崎 恵子氏

(日東インシタ(株))

菅野 博行氏

(日本エン지니어・サービス(株))

(社)宮城県計量協会会長褒賞

板橋 稔之氏

(北日本環境整備(株))

佐藤 誠氏

(日東インシタ(株))

軍司 智氏

(日東インシタ(株))



受賞者代表謝辞



工藤 哲也氏

(トキコテクノ(株))

篠田 仁氏

(株)タツノ・メカトロニクス

沼田 智子氏

(日本エン지니어・サービス(株))

決議議案

《第一号議案》

平成十九年度事業報告について
平成十九年度の会員の状況、理事会及び諸会議の内容、公益事業として、計量記念日事業、工業品材料依頼試験等事業、仙台市指定定期検査事業、流通事業者の指導、機関誌「計量みやぎ」の発行、収益事業として、特定計量器の代検査事業、材料試験機の検査、計量証明事業、計量管理受託事業、各部会合同研修会等について説明し、満場一致承認された。

《第二号議案》

平成十九年度財務諸表の承認について
一般会計
五、七二七、七八二円

受託金特別会計
二五、九四〇、六六一円

指定検査機関特別会計
二六、二二九、四〇一円

収益事業特別会計
三三、七一一、二五六円

なお収益事業特別会計においては、九〇四、五八三円の当期純利益が生じ、この金額は一般会計へ繰入れる



審議風景

《第三号議案》

平成二十年度事業計画書の審議について
満場一致で承認された。

《第四号議案》

平成二十年度収支予算書の審議について
一般会計
五、〇四〇、〇〇〇円

受託金特別会計
二五、九四〇、〇〇〇円

指定検査機関特別会計
二七、五四七、九七〇円

収益事業特別会計
三三、五一〇、〇〇〇円

の当初予算について満場一致で可決された。

《第五号議案》

理事の一部選任について
新理事に吉田俊文氏、河野敏彦氏、松本康成氏、笠原秀氏、金子正春氏が新たに選任され承認された。

《報告事項》

(1) 計量功労者表彰について
宮城県知事褒賞、(社)日本計量振興協会会長表彰、東北六県北海道計量協会連合会会長表彰、会長表彰・褒賞について報告された。

(2) 東北・北海道計量大会
日程について

東北・北海道計量大会日程についての報告があり、今年度は(社)青森県計量協会の当番で十月九日(木)～十日(金)に予定されているとの報告があった。



平成二十年度 事業計画

行政改革の一環として、平成十七年十月に内閣官房より公益法人制度改正骨子案が提出され、平成十八年六月公益法人制度改革関係三法が交付されたところです。

非営利法人制度の概要と公益性認定基準の考え方が示されており、今年十二月新制度の施行となり、移行期間 5 年の間に公益社団法人・一般社団法人いずれかの移行手続きが必要となり、新認定基準が導入されるとあります。

平成二十年度事業計画として、平成十九年度に引き続き運営強化事業を軸とした展開を確実に運営しなければなりません。

仙台市から「指定定期検査機関」として指定を受け七年度にあたり、特定計量器の定期検査及び立入検査補助の委託を受け計量の安全確保、消費者擁護に努めてきたこれまでの実績を踏まえ、更なる実施体制の強化を図るとともに、平成十六年度に全国一斉に受託した日本郵政グループの適正計量管理事業及び十九年度に新規事業として、日本計量振興協会と委託契約を締結した日本郵政グループの代検査業務（県内ローソン店舗内はかり）の定期検査（これらにつ

いても効率的な業務体制を図り、継続事業として着実に推進する。更に、協会の基盤をなす県からの代検査事業・工業材料依頼試験等事業についても継続事業として推進する。また、これからの厳しい時代に対応できる団体として、さらなる協会の運営基盤を強化し県民の正しい計量思想の普及並びに、中小企業の発展に寄与するため事業を着実に展開する。

主な事業の 基本方針

一、運営強化事業

- 取引・証明用計量器の代検査事業の継続（八市六郡対象）
- 仙台市指定定期検査機関の行う定期検査の長期継続（宮城野区・若林区・泉区）
- 工業品材料依頼試験等事業の長期継続
- 計量士部会が行う材料試験機検査事業の拡大
- 仙台市管内立入検査補助業務の継続
- 日本郵政公社の受託事業の長期継続
- 質量計量証明事業の継続
- 計量記念日事業による計量思想の普及啓発

二、公益事業

- 「みやぎ計量のひろば」の開催
- 「計量みやぎ」の発行
- 受託事業、工業品材料依頼

三、収益事業

- 取引証明用、大型・小型はかりの代検査業務の継続
- 質量計量証明事業の継続
- 日本郵政公社の計量管理受託業務の継続
- 材料試験機の検査業務の継続
- 宮城県証紙販売の拡充

四、部会活動対策事業

- 工業・環境・流通・計量士・計量器コンサルタント等の研修、講習会等の展開
- 優良事業場及び永年勤続従業員表彰
- 先端産業事業場の視察
- 県内計量器販売者の研修・育成

五、行政並びに関係機関諸会議

- 平成二十年度東北・北海道



審議風景

平成20年度収支予算書総括表（案）（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）

	公益事業				収益事業	+
	一般会計	受託金	指定検査機関	合 計	収益事業	
事業活動収入						
会費入会金収入	2,550,000			2,550,000		2,550,000
補助金収入	1,300,000			1,300,000		1,300,000
負担金収入	260,000			260,000		260,000
事業収入		25,935,000	9,600,000	35,535,000	24,300,000	59,835,000
補助金収入			17,947,070	17,947,070		17,947,070
受託料収入					9,216,460	9,216,460
雑収入	30,000	5,000	900	35,900	3,540	39,440
繰入金収入	900,000			900,000		900,000
事業活動収入計	5,040,000	25,940,000	27,547,970	58,527,970	33,520,000	92,047,970
事業活動支出						
事業費	1,300,000	18,095,000	19,752,410	39,147,410	19,990,000	59,137,410
管理費	3,470,000	7,850,000	7,795,560	19,115,560	13,530,000	32,645,560
事業活動支出計	4,770,000	25,945,000	27,547,970	58,262,970	33,520,000	91,782,970
投資活動支出						
特定預金支出	510,000			510,000		510,000
予備費支出	10,000			10,000		10,000
当期収支差額	250,000	5,000		255,000		255,000
前期繰越収支差額	250,000	5,000		255,000		255,000
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0

- 計量協会会長会議及び東北・北海道計量大会第五十七次連合総会
期日 平成二十年十月九日（木）
場所 青森市堤町「リー・三三」「ホテル青森」
- 社日本計量振興協会第九回通常総会
期日 平成二十年五月二十日（月）
場所 グランドヒル市ヶ谷 東京都内
- 平成二十年度東北・北海道事務局長会議
期日 平成二十年十一月
場所 青森県管内
- 平成二十年度第三十回計量士等東北地協議会
期日 平成二十年十一月
場所 青森県管内
- 行政機関及び各種団体の主催する行事等の参加

会 社 紹 介

〔会社概要〕

社 名 株式会社 仙台測器社
代 表 者 代表取締役 高橋栄一
所 在 地 本 社
 仙台市若林区卸町三丁目1番24号
 TEL 022- 236- 1811
 FAX 022- 283- 1124
 不動産部
 仙台市青葉区一番町三丁目5番4号
 TEL 022- 223- 6106

創 業 大正12年9月
会 社 設 立 昭和23年9月
資 本 金 1,000万円
事業の目的 計測機器の販売並びに各計量器・計測器の
 制作・取付・修理

業務登録許可 計量器製造許可(通産大臣第91号)
 計量器販売事業登録(宮城県知事第14号)
 濃度計修理事業登録(宮城県知事第68号)

建設業許可 機械器具設置工事業
 (宮城県知事許可<般-12>第9611号)
 電気通信工事業
 (宮城県知事許可<般-12>第9611号)
 電気工事業
 (宮城県知事許可<般-12>第9611号)

認 証 規 格 ISO9001: 2000
取得年月日 平成13年11月28日
取 得 番 号 01- 1586
取 得 範 囲 環境計測器の販売・設置・点検・修理
関 連 会 社 東北計測サービス株式会社
 仙台市若林区卸町三丁目1番5号
 TEL 022- 236- 4188



仙台測器社は1923年(大正12年) 測量・度量衡機器の販売として設立しました。その後時代の変化に伴って、あらゆる分野の計測器販売・設置点検及び修理に携わってまいりました。現在地球環境が大きな社会問題として取り上げており、今後はこれらの環境問題にいかに関わり組み早急な対策を講じる事が求められています。

この状況下私たち『**仙台測器社**』は、この環境問題の対策作りへの手がかりとなるデータの収集・分析を積極的にサポートして参りました。そして当社の積み重ねてきた経験を全社会的な取り組みとしてトータル的な視野と専門的な視点でお客様のニーズに合わせた環境計測器のシステムづくりを提案し、より快適な暮らし、より安全な暮らしを支える一助と成るよう尽力して参ります。

【**仙台測器社**】は常に高い品質のサービスをお客様に提供しますをモットーに国際品質規格である **ISO9001**を習得する事で、より良いサービスをお客様に提供出来るよう日頃より営業努力を続けております。特に2000年度版が最も重視している『**顧客満足**』に着眼しお客様から評価して頂けるサービスが出来るよう全社員が取り組んでおります。

分銅等校正料金表 平成20年4月1日現在

・校正料金

分 銅 の 重 さ	金額 (円)
1g~ 200gまで	1,575
200g超え ~ 5kgまで	2,625
5kg超え ~ 20kgまで	3,675

校正料金は分銅1個あたりの料金になります。

・証明書発行手数料

証 明 書	金額 (円)
1部につき	2,100

・成績書発行手数料

成績書に記載する分銅の個数	金額 (円)
5個まで	5,250
5個を超え 10個まで	7,875
10個を超え 20個まで	10,500
20個を超える	15,750

・体系図発行手数料表

トレーサビリティ体系図	金額 (円)
1部につき	2,100

JCSS (Japan Calibration Service System)マークは証明書等には付きません。基準器等の有効期間のあるもの又は基準器検査の前検査の為の校正はいたします。

OIML (E2~ M3)又は基準分銅(1級~3級)等のランク付けはいたしません。分銅の傷や塗装の剥げ等の状態によっては、校正をお断りすることがあります。校正する分銅は原則持ち込みで願います。持ち込みが困難な場合、宅配便等でも可ですが、精密機器運搬に耐えうる梱包をして下さい。また費用等は依頼者側で負担していただきます。運送中の事故については責任を負いかねますのでご承知願います。

引受・納品を希望される場合は、別途出張料及び交通費が依頼者負担となります。

校正証明書の再発行を希望される場合は、一部¥1,050となります。金額は消費税込みの料金になります。

皆様からのご要望にお応えするため新規事業として、分銅・おもり並びに電子てんびんの校正業務を平成20年度から開始することといたしましたので、ご案内いたします。

当協会の校正は、JCSS登録事業者で校正を受けた質量標準器OIML F1/F2級クラスを用いて校正をいたします。

なおJCSS登録事業者ではありませんので、証明書にJCSSの標準(ロゴマーク)は付することはできません。

依頼ありました分銅・おもりに

の校正につきましては、質量標準器及びコンパレータで比較測定を行いますので、出張による校正は行いません。

依頼される分銅につきましては、持ち込んでいただくか、郵送でも受け付けたいしております。また、成績書等には有効期間は設けておりません。

使用頻度を考慮していただき、制度・性能が保証できますよう自社で有効期間を判断して下さいます。校正料金は表のとおりです。

詳細の問い合わせは事務局までお願いいたします。

新規事業のご案内

一般公開・みんな集まれ 技術のおもちゃ箱

宮城県産業技術総合センターでは、去る7月4日(金)、5日(土)の両日、今年も恒例になりました一般公開が行われました。

この一般公開は、県民、特に青少年を対象として、技術とふれあう場を提供し、来場者に産業技術を身近に感じてもらうとともに、当センターの事業内容を広く県民に紹介してご理解をいただくため開催されているものです。

「工業製品から食品まで」に及ぶセンターの設備・機器を使用したものづくりの楽しさに触れながら、様々な成果物の展示と体験教室、及び県内4地域から協力をいただいた電紋塗り(鳴子)、竹細工(岩出山)、木材加工(津山)、硯石加工(雄勝)の体験教室がありました。

当計量協会においても、びっくり体験「鉄筋破断」と銘打った建築・土木材料の鉄筋を引っ張り試験機により数トンの力で引きちぎる実験を行いました。初日の4日は、近隣小学校(4校)の児童約270人を招待して見学してもらいました。おそらく見学者全員が初体験ではないかと思われませんが、鉄筋破断の瞬間を今か今かと目をまばたかせながら息をのみ、担当者か



「間もなく切れますよ」と話された直後に、「ドスン……、パチン……」という地響きと共に大きな破裂音がしました。両手で耳をふさいでいた子供達もこれには堪らず、「ワー……、キャー……」と叫声を上げながら逃げ回っていました。

「カーインテリジェンスを体験しよう!」のコーナーでは、最新の無線システムと実際の自動車開発に使われるアプリケーションシステム設計手法を用いて、LEGO NXT ラジコン自動車で遊ぶことができ、子供達が長い列を作っていました。

また、工業技術センター時代から40周年にちなんだ年表・パネルの展示コーナー、事業紹介コーナー、宮城県グリーン製品展示コーナー、企業紹介コーナー、くらしに活かす知恵・技術セミナー等が行われました。

2日間で約940名の見学者の方々が訪れ、好評のうちに終了しました。



東北六県・北海道計量協会 事務局長会議開催

平成十九年度東北・北海道計量協会事務局長会議は、北海道当番により、二月八日金北海道厚生年金会館において開催された。

参加者は、各道県計量協会専務理事及び事務局長七名、社北海道計量協会、氏家専務理事の挨拶の後会議は氏家専務理事の議長により開催された。

各道県から提案された議題は次の通りです。

- 《議題一》平成二十年度東北・北海道計量大会について(青森県)
- 《議題二》会員との関係強化と会費の未納者に対する対応策について(秋田県)
- 《議題三》指定定期検査機関について(福島県)

計量器校正手数料 平成 20 年 4 月 1 日現在 (単位: 円)

種 別		能 力		手数料
機 械 式 (アナログ式)	手 動 天 び ん ばね式指示はかり (直線目盛付を含む) その他の手動はかり 等比皿手動はかり 手動指示併用はかり その他の指示はかり	ひょう量	30kg以下	2,520
		"	100kg以下	3,150
		"	150kg以下	4,200
		"	500kg以下	8,400
		"	1t 以下	16,800
		"	2t 以下	28,770
電 気 式 (デジタル式)	電気抵抗線式はかり 光 電 式 は か り 誘 電 式 は か り 電 磁 式 は か り 音叉振動式はかり その他の電気式はかり	"	30kg以下	5,250
		"	100kg以下	6,300
		"	150kg以下	7,350
		"	500kg以下	10,500
		"	1t 以下	21,600
		"	2t 以下	31,500
校 正 成 績 書 発 行 料				2,100
ト レ ー サ ビ リ テ ィ 体 系 図 発 行 料				2,100

「備考」
 * 手数料ははかり1台あたりの料金になります。但し、上記手数料の他に別途、出張料が加算されます。
 * 校正成績書発行料は、はかり1台あたりの料金になります。なお、必要の場合は事前にご連絡下さい。
 * 500kgを超えるはかりの場合、手数料の他に検査用分銅の運搬費が加算されます。金額についてはお問い合わせ願います。
 * 手数料は、消費税込みの料金になります。



協会の体力にあった大会を基本にすると各協会の間で格差が生じる。そのため大会等の諸行事に統一性が必要との意見もあった。このため、各協会の考え方の違いもあり大会等の諸行事を画一的に統一することは困難であるため、大会等諸行事全体を縮小する方向を基本に、大会を行うことと討議された。

《議題四》参加者が参加しやすい計量大会運営及び東北・北海道計量協会連合会運営の再検討について(北海道)

以上の議題について、各道県から主旨説明があり、真剣に討議された。

今回の事務局長会議でのメイン議題は、昨年の計量大会(北海道当番)の際北海道から提案された、今後の計量大会の運営の在り方についてであったが、結論を得ず事務局長会議に委ねられたことから、今回検討することとなった。

各道県からの意見としては、大会諸行事を全般的に縮小する方向では理解を得られたが、各

おすすめスポット

今回ご紹介させて頂くのは牡鹿半島の先端近く、仙台湾に浮かぶ島の一つ「田代島」です。

この島は南三陸金華山国定公園にも指定されており、三陸海岸独自のリアス式海岸による風光明媚な風景が島内のいたる所で見ることが出来ます。

日常を凌駕した壮大な自然、豊富な海産物、そして「猫」観る物すべてがこの島の魅力です。

田代島は別名「猫の島」とも言われておりその名の通りあちらこちらで我が物顔の猫達がうろついています。猫の楽園と呼ばれている猫の理想の環境が、この島には存在しています。

島周辺の海の透明度が抜群。島の南端に突き出ている三ツ石崎に立つと、入り江の岩肌と白波とのコントラストが感動を誘います。

田代島へ向かう直通フェリーは1日に3便(9:00 12:00 15:30)のみ。石巻・北上川河口船着き場から約40分。大人片道1200円。チケットの支払いは船内でOKです。



各部会合同研修会

第一部

平成20年2月14日(木) アエル28F エル・ソーラ仙台において、健康管理について、34名参加のもと、午後2時3時30分研修会が開催された。

午後2時00分～3時00分
1) 研修テーマ「健康管理・メタボリックシンドローム等について」
講師 保健師・看護師・助産師 山田 真知子氏

第二部

午後3時00分～3時30分
(2) 研修テーマ「食事と健康について」
講師 栄養士 奥村 千晶氏

平成20年4月から開始される、特定検診が導入されることになり最近の健康管理にメタボリックシンドロームの予防について、生活習慣病に負けない体づくり、食事と健康についての日常生活における有意義な研修会となった。

平成20年度東北・北海道計量大会

- 【期 日】平成20年10月9日(木)～10日(金)
【場 所】青森県堤町1丁目1-23「ホテル青森」
【視察観光】五所川原「立佞武多の館」斜陽館「津軽三味線館」
【参加費用】¥26,000(観光含む)
【申込期日】平成20年8月20日(水)
(社)宮城県計量協会まで TEL 022-246-2466

計量検定所人事異動のお知らせ

- (転入者)四月一日付
副参事兼次長(総括) 星 紀夫(林業技術総合センター)
技術主幹 尾崎 泰 (東部土木事務所登米地域事務所)
技術主査 千田 拓 (土木部管轄課)
(転出者)四月一日付
副参事兼次長(総括) 青田 洋(技師)
技術主査 堀江 博一 (技術主任)
主任主査 篠澤 守 (仙南仙塩広域水道事務所)
技術主査 池田 裕之 (仙南仙塩広域水道事務所)
主任主査 伏見 雅樹 (仙南仙塩広域水道事務所)
森屋 清(高等看護学校)

お知らせ

平成20年度優良事業所視察

- 【期 日】平成20年9月4日(木)～5日(金)
【場 所】福島県白河「住友ゴム工業(株)」白河精機(株)」
【宿 泊】母畑温泉「八幡屋」
【参加費用】¥16,000
【申込期日】平成20年8月22日(金)
(社)宮城県計量協会まで

「'08みやぎ計量のひろば」開催

- 【日 時】平成20年11月1日(土) 10:00～14:00
【場 所】八木山動物公園

イベント内容

- 健康測定コーナー 動物の重さ、長さ当てコーナー
111グラムを当てよう 計量記念日ポスター展示
記念品の配布

編集後記

本格的な夏の訪れの候、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

先日6月14日の岩手・宮城内陸地震では宮城県北部栗駒山等の崩落等々想像を絶する大変な被害状況となり、未だに10名の方々が行方不明となっております。お亡くなりになりました皆様のご冥福をお祈りすると共に、行方不明者が早く見つかることを心より願っております。

また、協会会員の皆様の中にも被害に遭われた方がおられると思いますが、心よりお見舞い申し上げます。

ところで、最近、大雨で冠水したり、猛暑に見舞われた海の事故など、様々な被害が全国各地で発生していると思えば、殺傷事件など恐ろしいことが繰り返されたりと何かと暗い話題が多い中、いよいよ北京オリンピックが開催されました。是非選手の方々が活躍され、明るい話題を日本国内にもたらしてほしいものです。

さて、先日51回通常総会が阴霾様で無事終了致しましたのでご報告させて頂きます。これから、厳しい時代に対応出来る団体として、協会運営基盤を強化し事業を着実に展開して参りますので、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。